

井手町 議会だより

第25号

平成21年(2009年)
5月発行

発行 井手町議会
編集 議会広報編集委員会
京都府綴喜郡井手町井手南玉水67
☎0774-82-6172 (直通)
<http://www.town.ide.kyoto.jp/>



今年も57,000人の人出で賑わった桜まつり



今日からピカピカの1年生

も く じ

- 平成21年度予算 ————— 2P
- 町政を問う・一般質問 ————— 5P
- 3月議会で決まったこと ————— 11P
- 委員会報告 ————— 13P
- 井手町のボランティアサークル紹介・編集後記 — 14P

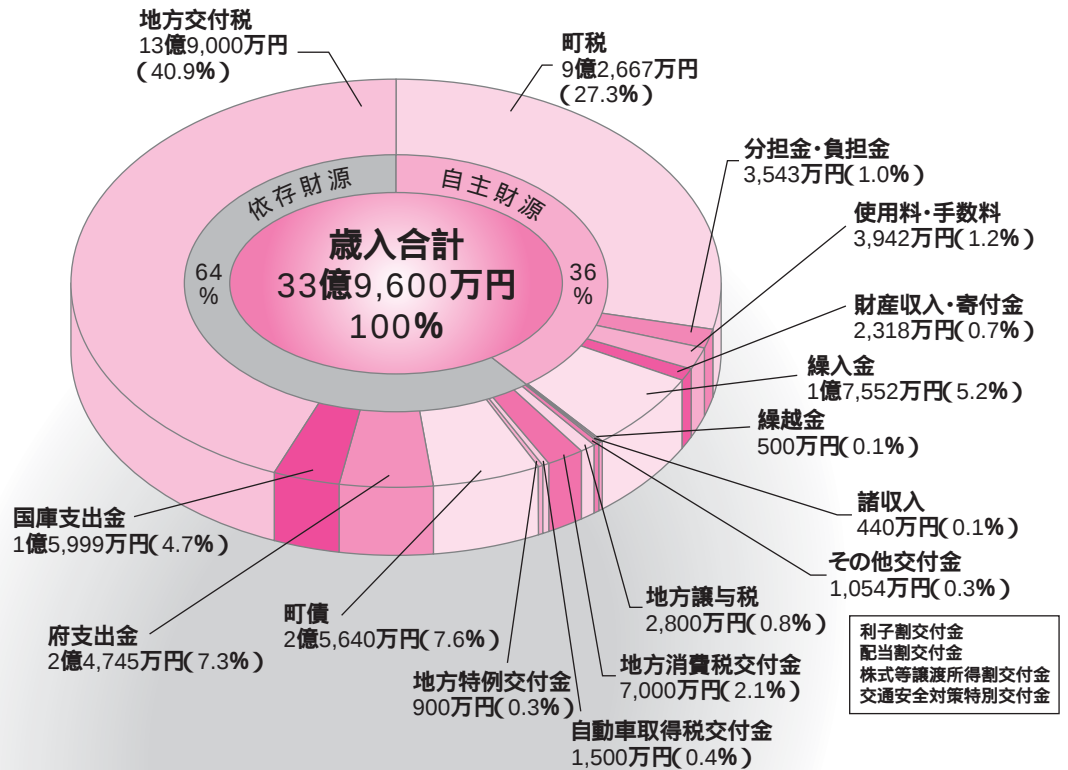
平成21年度予算総額61億1,344万円

一般会計予算33億9,600万円

(住民1人あたり約40万1千円)

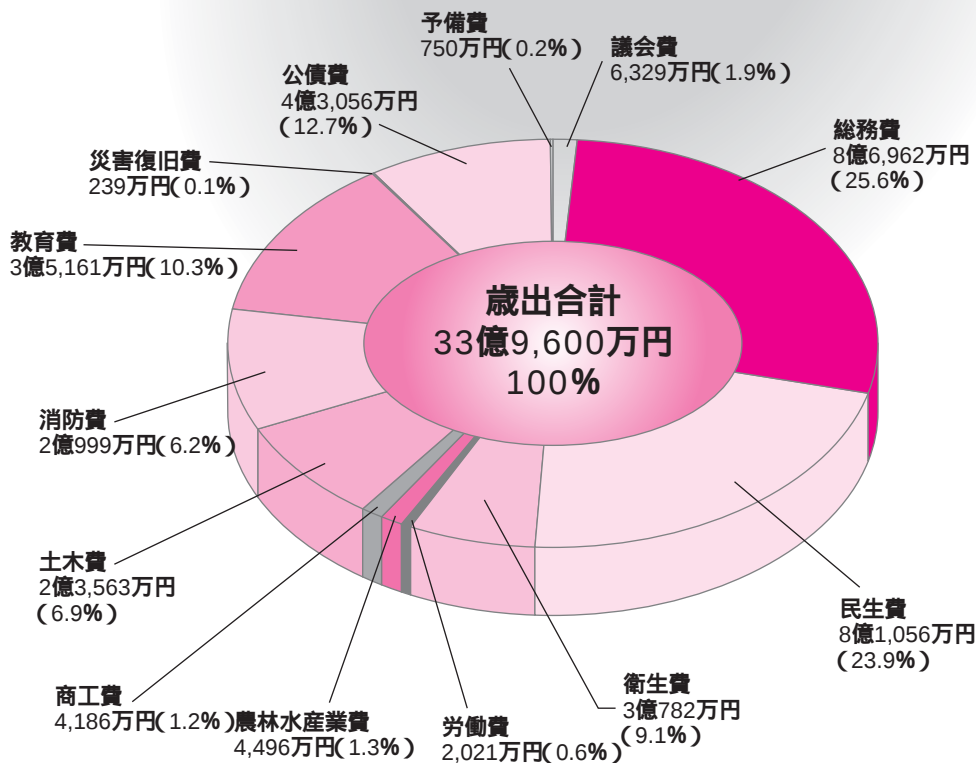
歳入合計

基金の有効活用で
 税収減少を



歳出合計

賛成多数で可決
 住民生活重視の予算



このように使われるみんなの税金

● 印は新規事業

安心・安全なまちづくりのために

- 消防委託料 14,983万円
- 消防車庫整備 536万円
- 井手分署改修 550万円
- ハザードマップ作成 250万円
- 交通安全施設整備 179万円

教育・子育て支援のために

- 小・中学校空調設備設置 7,138万円



エアコンが設置された教室

- 放課後児童クラブ 817万円
- 子育て支援医療費 1,664万円
- 多賀小特別支援学級設備充実 100万円
- 給食センター施設整備 443万円

高齢者・障害者のために

- 障害者自立支援事業 10,070万円
- 老人クラブ活動助成 222万円
- バリアフリー整備 200万円
- ゲートボール場整備 150万円



- 高齢者人間ドック助成 30万円

健康な生活のために

- 健康増進事業(特定・ガン検診) 1,092万円
- 予防接種事業 1,481万円
- 妊婦健康診査 1,394万円

快適な生活のために

- 一般廃棄物収集運搬委託 3,900万円
- 再生資源集団回収事業補助 121万円
- 合併処理浄化槽設置事業補助 207万円
- 生ごみ自家処理容器等購入補助 21万円

まちの活性化のために

- 町工場等誘致奨励金 1,152万円
- 町商工会振興事業補助 750万円
- 桜まつり 400万円
- まちづくりセンター管理委託 148万円
- 玉川の桜並木保存事業 250万円



くらしの周辺整備のために

- 町道1号線道路改良 3,100万円
- 町道38号線道路改良 3,200万円
- 玉川砂防公園 530万円
- 町営住宅改修等 3,239万円

住民の学習・交流・スポーツ活動支援に

- 文化祭 314万円
- 山吹ふれあいコンサート 11万円
- 文化財発掘調査 305万円
- 地域スポーツ活動 113万円

新しくはじまる住民サービス

- 住民票等交付窓口拡大サービス 10万円



賀泉苑入口

平成21年度 会計別予算

会 計 名		予 算 額	前年度比(%)
一 般 会 計		33億9,600万円	0.1
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	11億2,257万円	1.5
	井 手 町 水 道 事 業	3億8,171万円	128.6
	多 賀 地 区 簡 易 水 道 事 業	5,941万円	- 25.8
	公 共 下 水 道 事 業	4億3,850万円	- 26.7
	老 人 保 健	128万円	- 98.4
	介 護 保 険	6億2,779万円	5.7
	後 期 高 齢 者 医 療	8,333万円	- 7.4
	多 賀 財 産 区	285万円	- 0.6
合 計		61億1,344万円	0.1

町長の予算編成方針(要旨)

国は厳しい国際金融情勢の変化を受け、財政健全化に向けた基本方針を維持しつつ、国民生活と日本経済を守るため、各種内需拡大策や成長力強化策を打ち出すこととしている。

本町においては、少子高齢化を食い止めるための都市基盤整備や生活環境整備充実を図りつつ、企業誘致や新規産業の育成はもとより自然環境を活かしたまちづくりを推進し、町の活性化に努める必要がある。

自主財源に乏しい本町ではあるが、生活基盤の整備充実や、高齢者福祉をはじめとする福祉の拡充、住民の健康増進、諸施設の整備、教育や暮らしの周辺整備には継続して取り組む。

公共施設のバリアフリー化の推進、小・中学校の空調設備設置に積極的に取り組む。

なお、21年度においても歳入不足が生じるため、各種基金を有効に活用したい。

住民サービスの充実のため、その他ゴミの週1回収の実施や、賀泉宛等での各種証明書の発行を実施する。歳出については、当然のことながら既定経費のさらなる合理化と財源の重点的・効率的配分をおこない、極力その節減に努めた予算である。

反対討論

昨年のアメリカ発の金融危機以来急激に悪化している経済状況の中、井手町民の暮らしや営業は一層深刻さを増しており、年金・医療・介護をめぐり苦難が深まっている。本町の21年度一般会計予算は、人件費減を差し引いても昨年度比2.1%増にとどまっている。

保育については、年度途中での低年齢児の入所希望が定員を上回った場合に十分に対応できず、一時保育も実施しない。子どもの医療費無料化の拡大を実施すべきだ。

くらしの資金で保証人を要する、火葬料補助でも他市町と格差があり、介護保険利用料の減免制度もなく、失業しても国保の減免対象にしないなど、緊急時にふさわしい思い切った予算とは到底思えない。

討 論

賛成討論

一般会計の予算総額は、人件費の減額を除いて対前年比約2.1%の増額となり、税収の落ち込みが見込まれる中で、財政の健全化を図りながらも住民の福祉・教育などを後退させない努力が随所に見られる積極的な予算となっている。

第4次総合計画策定業務、住民票等交付窓口拡大サービス、バリアフリー整備、ゲートボール場整備、高齢者人間ドック助成、その他ゴミの週1回収、玉川の桜並木保存事業、町道1号線の道路改良、町営住宅の整備、ハザードマップ作成、小・中学校の空調設備設置など、あらゆる世代に配慮しながら、自然環境の保全や利便性・快適性の向上にも努めた積極的な予算である。

町政を問う

一般質問に6人の議員が登壇

岡田 久雄 議員

- ❖ 定額給付金および子育て応援特別手当支給について
- ❖ 妊婦健康診査の拡充について

森田 泰雄 議員

- ❖ 井手町の今後のまちづくりについて
- ❖ 多賀白坂地区の開発計画および環境保全について

村田 忠文 議員

- ❖ 「その他ゴミ」の収集について
- ❖ 中学生の学力向上のための施策について

木村 武寿 議員

- ❖ 公営住宅の耐震補強について
- ❖ ハンセン病問題の解決に向けた取り組みについて
- ❖ 環境マネジメントの取り組みについて

岩田 剛 議員

- ❖ 多賀地区の町道整備計画について
- ❖ 府民公募型公共事業(安心・安全整備事業)への取り組みについて

谷田 みさお 議員

- ❖ 雇用・景気対策について
- ❖ 地域公共交通の整備について
- ❖ 保育・学童保育の充実について

総務 西島理事

支給総額1億3391万円

A

特定給付金の対象

者は8472人で交付
総額は1億2959万
円、子育て応援特別手
当は120人で交付総

額は432万円

所得制限は設けず支給
交付事務は定額給付金
交付事業推進本部、事
務局は総務課

Q

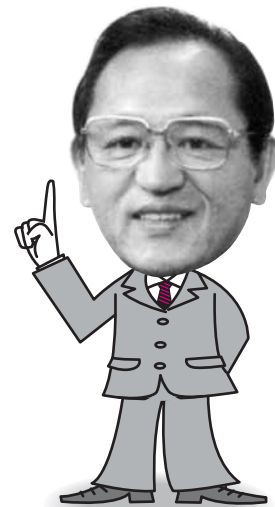
3月4日に第2次補
正予算関連法が成立し、
いよいよ定額給付金が支
給されることになった。

給付額は一人1万2千円
本年2月1日現在65歳
以上か18歳以下の人に
は2万円となっている。

本町の取り組みについて

対象者数・支給総額
所得制限の有無
担当部署・住民への周
知方法
支給時期・支給方法
商工関係との連携によ
るプレミアム商品券の
発行の有無について問う

定額給付金および 子育て応援特別手当支給は



岡田 久雄 議員

A

実施時期は4月1
日から

一人あたり助成額は8
万6840円

助産所での利用は可能
里帰り出産時の利用は
可能

妊娠前期に4回、中期
に6回、後期に4回を

民生 池田理事

拡充は4月1日から

基本とし、その期間に
必要な基本項目および
検査を実施する。

Q

妊婦健診は、産まれ
てくる子どもの健康を守
る観点から必要不可欠で
ある。従来の5回分の健
診費用の支援に加え、今
回2010年までの措置
として、残り9回分の費
用を新たに助成すること

になった。
本町での
実施時期は
助成金額は
助産所での利用は可能か
里帰り出産時の利用は
可能か
14回の受診方法は

妊婦健康診査の拡充は

住民への周知は「広報
いで」やホームページ、
チラシ配布で実施
支給時期は4月中旬、
支給方法は原則口座振

込となる
商工会との連携による
プレミアム商品券は発
行を検討されている



町 長

3 重要事業の実現

A

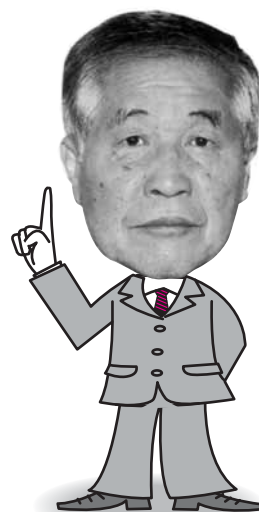
まちづくりの主人公は住民との認識のものと、関係団体と一体となって町政推進の基本姿勢を堅持する。

前年度比2110万
5千円、率にして2%の減少見込み。
本町の財源は、町税等の自主財源に乏しく依存財源に頼っている。
経済動向や国・府の

Q いま日本経済は、生活不安や購買力の減少から景気が後退する状況である。
政府は景気対策を最重点課題としているが、本町としてもこのような情勢の下で、税収入の減少は避けられない。

財政的に厳しい状況ではあるが夢のあるまちづくりが必要だ。
今後のまちづくりは町税の減収見込みは21年度予算編成の考え方は
中・長期的な財政計画は人口の減少防止対策は

今後のまちづくりは



森田 泰雄 議員

状況により大きな影響をつける。

今後も厳しい財政状況が続くが、福祉・教育・暮らしの周辺整備をできるだけ後退させることなく推進したい。

21年度予算もこうした点を十分念頭において編成した。

經常収支比率が高水準で推移している財政構造を改善する必要がある。

經常的な支出の軽減に努める必要がある。
人口の減少は、まちに活気がなくなり教育や福祉、商工業や農業、

町の行財政運営などに影響が出る。

この状況が続くと取り返しのつかないまちになるのではと強い危機感をもっている。

人口減少防止対策として次の3重要事業を進めたい。

● 利便性を高めるため沿線市町とも連携しJR奈良線的全線複線化を実現

● 若者の働く場と税収確保のため、白坂地区を開発して企業誘致を実現

● 宇治木津線道路新設の実現

白坂地区の開発状況と環境問題は

Q

白坂地区の開発については以前にも問題提起をしたが、今進めている国道307号線バイパス工事と関連して白坂地区の開発を見据え、環境問題を改善する観点から問う。

多賀地域の将来を見据えた具体的なまちづくり構想とその後具体的な進捗状況は。

この開発計画は具体化するまで一定の期間が必要になると思う。従って

事業
中島理事

適切な土地管理を指導

当面現状の環境問題の改善が必要だ。白坂地区はジャングル化した状況でありいつ火災が起きても不思議ではない。
さらに最近では野生動物、特にサル・イノシシが

多く出没し大変な状況だ。春から夏に向けてますますジャングル化が進むと考えられる。ジャングル化を防ぐための対応が急務である。

A 産業拠点ゾーンとしてまちの活性化を図りたいと考えている。

る状況

イノシシなどは、有害鳥獣駆除を実施するなど対応。

開発は、民間開発で全体的計画面積約25ヘクタール、京都府南部地域の新産業拠点の整備

今後とも地権者には適切な土地管理を指導する。

進捗状況は、

城陽市・井手町で連絡調整会議を設置し、京都府も参加のうえ開発推進の諸課題解決にむけ取り組みんでいる。

白坂地区は昭和40年代後半から耕作が放棄され原野化してい



ジャングル化が進む白坂地区



その他ゴミは毎週収集に

その他ゴミの収集回数は



村田 忠文 議員

Q 昨年12月議会の一般質問で「その他ゴミの収集回数について、月2回の収集から毎週収集にふやせないか」の質問に対し「収集・搬入などの

見直しを検討したい」との回答をいただいた。住民の方に話をしたところ「いつから始めてくれるのか」と早速大きな反響を得ている。

検討がどの程度進捗しているのか、また実施できるのであればいつから実施できるのか明確に回答いただきたい。

事業
中島理事

毎週収集に増やす

A その他ゴミの収集は、現状の月2回を平成21年4月から毎週収集に増やすこととした。

「ふりかえりスタディ制度」の取り組みは

Q 中学生の学力向上のための施策について、学習習慣支援で退職教員を小学校に配置する「まなびアドバイザー制度」を平成20年度に井手小学校が取り入れている。府の新年度当初予算案の教育部門の目玉に、学力が不十分な中学1年生に小学校の学習内容を集中補習させる「ふりかえりスタディ」という制度

があるが、町教育委員会、中学校の学力向上支援にこの制度を活用する考えがあるか。夏休みを使って集中補習をする制度のようだが中学校の普通教室にエアコンも設置されており必要環境整備も整っていると思う。

また、2・3年生の学力向上支援策は。

教育
加賀山
職務代理

制度を有効に活用

A 府の「ふりかえりスタディ制度」を活用する。夏休み期間に、60時間程度の国語・算数を中心とした学習を行う。指導には退職教員等が当たる。

環境の中で、夏休みに集中学習を実施する。

2・3年生についても夏休みの学習日数を増やす。

特に3年生は、部活動を終える2学期中頃から希望進路の実現に向けてさらに充実させる。

平成20年度に設置した普通教室の空調設備を効果的に活用し、快適な



環境整備が整った教室

同和人権
西田理事

入居者の同意が 得られ次第実施

A 簡易準耐火

2階建てと府営住宅は新耐震基準を満たしており耐震化の必要はない。

中層耐火構造4階建ての6棟は既設改良住宅改善事業を実施したが耐震化は未実施。

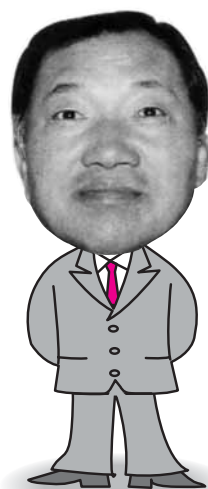


耐震化が待たれる改良住宅

公営住宅の耐震化は

Q 本町においては公共物の耐震化はすべて完了したと聞いている。

改良・公営住宅等の耐震化は。



木村 武壽 議員

ハンセン病問題 解決への取り組みは

今後年次計画に従い順次耐震化を実施する予定だが、振動や騒音等入居者の協力が不可欠であり入居者全員の同意が得られた住宅から実施する。

Q 2008年「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が成立した。

本町において、同問題の解決のためどのような施策を実現推進させるのか。

民生
池田理事

正しい知識の啓発に努める

A ハンセン病患者などの福祉の増進、名誉の回復などの措置を講ずるため「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が制定され、本年4月1日に施行された。

本町は「人権教育のための国連10年井手町行

動計画」や「井手町人権教育・啓発推進計画」にハンセン病に関する正しい知識の普及・偏見や差別の解消を定めている。

講演会やパンフレット等を配布し、今後関係機関と協力し啓発に努める。

KESの取り組みを

Q 地球環境問題は21世紀人類最大の課題だ。

近隣市町では、KES環境マネジメントシステム

ムに取り組み、改善活動の効率化、自治体の体質強化が図られている。

以前ISOについての一般質問で、「考える」との回答であったと思うが本町でもKESの取り組みをしては。

事業
中島理事

地球温暖化対策 実行計画で対応

A 本町では、昨年決定した「井手町地球温暖化対策実行計画」により二酸化炭素排出削減を進めている。

計画の推進には推進本部を設置し、省エネなどの取り組みを点検・評価し、見直しを進めている。

これは自主的に取り組む環境マネジメントの一つである。

KESとは

KESは「環境マネジメントシステム」の規格です。「環境マネジメントシステム」とは、企業等の経営に当たって環境への負荷を管理・低減するための仕組みです。

環境マネジメントシステムには国際規格ISO14001がありますが、中小企業には人・物・金等経営資源



の問題により取得が困難であることから、より分かりやすく取り組みやすい規格として誕生したのがKESです。



拡幅が待たれる前川筋

多賀地区の町道整備計画は

Q 長年の懸案であった多賀バイパスが開通した。城陽線の通過車輛が激減した。しかし、多賀バイパス



岩田 剛 議員

に通じる町道の通過車輛が増加し、多賀バイパスへの東西の町道の整備が望まれる。

町道17号線、11号線、1号線、前川筋の拡幅についての考えは。

特に前川筋は道路の幅員が狭く車の行違いが困難である。

府道からバイパスまでの間の水路を暗渠として道路の幅員を広げてはどうか。

事業中 島理事

一丁道の拡幅を実施予定

A 東西方向の町道拡幅は必要である。

まず、町道1号線（一

ともあり、暗渠化については慎重な検討が必要である。

丁道）は拡幅が急務であり、府道から梅溪橋までの道路改良費を21年度予算に計上した。

前川筋の拡幅は、出水時に水路が満水となるこ

その他の道路拡幅については、区長会などの要望を受け、地権者などの協力を得ながら実施可能な箇所から整備していく。

安心・安全整備事業の

取り組みは

Q 府は21年度に住民目線で無駄のない公共事業を実施することになった。身近な道路や河川の整備について、住民から提

案を募る公募型公共事業という制度だ。

具体的には信号機や横断歩道、通学路の拡幅や河川の親水施設の設置な

事業中 島理事

具体的な事業内容が判明すれば対応

A 対象となる事業は府道や府管理河川などの事業に限定されるのではない

本町としては本事業の具体的な内容が判明した時点で、要望活動などに取り組んでいきたい。



危険な通学路

ど、府全体で60億円の予算が計上されると聞いている。

住みよいまちづくりを目指して活動しているNPO団体や各種住民団体が懸案としている事業が予算の関

係から未実施となっているものがあるようだ。

この際、担当部署が各団体の要望を集約し要望の調整を行い、この府の事業を有効に活用する仕組みをつくってはどうか。

谷田 みさお 議員



各種交付金 どのように活用

Q 国の08年度第二次補正予算では、緊急の景気・雇用対策が盛り込まれている。

地域活性化生活対策臨時交付金・ふるさと雇用

総務
西島理事

住みよいまちづくりに活用

A 地域活性化生活対策

臨時交付金は4177万円です。既に実施した交通安全灯設置や補正予算で計上した老人福祉センターの空調改修・多賀保育園の屋根改修・町道舗装等に活用する。

ふるさと雇用再生特別交付金は3力年の配分予

地域雇用創出費は21年22年度に限り普通交付税の算定に係わる臨時費用として設けられるもの。

地域公共交通の整備を

Q 07年10月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」で、市町村が公共交通の活性化の推進の中心的役割を担うことが明確にされた。

公共交通安全の活性化は住民の足を確保することだけでなく、行動の自由がなくなる不安感や引きこ

JRの利便性アップや駅のバリアフリー化、コミュニティバスの導入、福祉タクシーチケットの配布など、協議会を設けてさまざまな角度から検討を始めてはどうか。

本町の市街地は、南北3.5キロ、東西1.2キロと京都府でも最も狭く、市街地を中心に南北に走るJR奈良線には一つの駅があり、近年本数の増加による利便性も高まっている。本町は鉄軌道を中心としたまちの構造となつて

総務
西島理事

まずバリアフリー化を実施

A 本町の市街地は、南

おり、今後もさらなるJR奈良線の利便性向上が重要である。

バリアフリー化については、検討委員会が出された意見にもとづき、20年度から各公共施設で実施

JR多賀駅前整備等において実施。

保育園の入所申し込み状況は

Q 全国的に保育所入所や学童保育入所希望が増えている。本町の各園や各留守家庭児童会の申し込みの現状は。

現行の児童福祉法のも

民生
池田理事

現時点では199人

A 保育園の入所申し込みの現状は下記の表のとおり。

低年齢児保育申し込み者は現在定員基準内である。

一時保育実施については、保育園の施設や設備・保育士の確保などの課題を整理し検討する。

保育園の申し込み状況

保育園	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
玉川	4	8	12	20	36	39	119
多賀	-	-	-	13	18	13	44
いづみ	-	10	11	15	-	-	36
計	4	18	23	48	54	52	199

- 印は募集をしておりません

教育
加賀山
職務代理

常勤化は考えていない

A 放課後児童クラブは井手小52人、多賀小11人。学童保育の指導員の常勤化は考えていない。

3月議会で決まったこと

役場窓口の開庁時間

4月から8時30分～5時15分

制定した条例

- 井手町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例

国の生活対策の一環として、介護従事者の処遇改善を図るため、介護報酬を3%引上げることになりました。

介護保険料の急激な上昇を抑えるための財政措置として、臨時特例交付金が交付されることとなり、当該交付金の受け皿となる基金を設置するものです。

(賛成全員)

改正した条例

- 井手町介護保険条例の一部を改正する条例

平成21年度から23年度までの65歳以上の第1号被保険者の保険料を3.1%引き上げるとともに、区分を7段階から8段階に改正するものです。

(賛成8 反対1)

- 職員の勤務時間休暇等に関する条例等の一部を改正する条例

人事院の勧告にともなうもので、職員の勤務時間を1週間40時間から38時間45分とするものです。

(賛成全員)

- 井手町廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例

家電リサイクル法の改正に伴うもので、従来ブラウン管式テレビ、電気洗濯機の廃棄時は手数料が必要でしたが、今回液晶式・プラズマ式のテレビ、衣類乾燥機についても1個3千円が必要となります。

(賛成全員)

同意案件

- 教育委員

松田 定氏

- 人権擁護委員

寺島 みさ尾氏

古川 透子氏

京田辺市大住ケ丘

井手中垣内

- 指定管理者

井手下赤田
(賛成8 反対1)

- 施設の名称

井手町野外活動センター施設
指定管理者
特定非営利活動法人
大正池環境サポーターセンター

理事長 古川 平二

(賛成全員)

- 施設の名称

井手町共同浴場
指定管理者

井手町共同浴場管理運営委員会
委員長 西島 種夫

(賛成8 反対1)



平成20年度補正予算

一般会計(第4回)

定額給付金交付事業費として1億3906万円、子育て応援特別手当として496万円、多賀保育園改修に880万円、老人福祉センター空調改修に1100万円、道路舗装に3300万円が主なもので1億9397万円を追加するものです。(賛成全員)

特別会計

国民健康保険(第3回)

平成19年度療養給付費負担(補助)金等の確定に伴い、国庫に45万円を返還するためのものです。

(賛成全員)

介護保険(第3回)

介護給付費の増加、介護報酬の改定等や、第4期保険料改定にかかる電算システムの改修、介護従事者処遇改善臨時特例交付金関係の補正で2370万円を追加するものです。

(賛成全員)

公共下水道事業(第4回)

平成20年度の未着工事を来年度に繰り越すためのもので255万円を減額するものです。

(賛成7反対1)

企業・団体による政治献金の

全面禁止を求める意見書

提出者 谷田 みさお 議員

(賛成少数)

去る3月8日午前0時ごろ岡本康隆議員が、

不慮の事故によりご逝去されました。謹んで

ご冥福をお祈り申し上げます。

なお、岡本康隆議員の死去に伴い、議会構成が次のように変更になりました。

● 変更後の議会構成 ●

総務文教常任委員会

委員長 古川 昭義

副委員長 森田 泰雄

委員 木田 鈴美

丸山 久志

木村 武壽

議会広報編集委員会

委員長 岩田 剛

副委員長 木田 鈴美

委員 岡田 久雄

森田 泰雄

村田 忠文

中坊 陽

産業厚生常任委員会

委員長 岩田 剛

副委員長 岡田 久雄

委員 村田 忠文

中坊 陽

谷田 みさお

交通対策特別委員会

委員長 木村 武壽

副委員長 岡田 久雄

委員 古川 昭義

丸山 久志

谷田 みさお

議会運営委員会

委員長 丸山 久志

副委員長 岡田 久雄

委員 岩田 剛

古川 昭義

村田 忠文

谷田 みさお



あなたも議会を傍聴しませんか

● お気軽におこし下さい ●

定例会は4回(3月・6月・9月・12月)

議会は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。

傍聴を希望される方は当日、傍聴席入口で受付簿に住所・氏名・年齢を記入して下さい。

井手町議会だよりは、井手町のホームページでもご覧になれます。

<http://www.town.ide.kyoto.jp/>

委員会報告

産業厚生常任委員会

委員長 岩田 剛

産業厚生常任委員会を3月12日に開催し、委員全員出席のもと町長並びに関係者の出席を求めて、議案第1号の井手町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例制定の件、議案第3号井手町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件について、詳しい説明を求め慎重かつ熱心な審査を行いました。

議案第1号は、介護報酬を3%引き上げる改定に伴う保険料の上昇を抑制し、被保険者の保険料の軽減を図るため、介護従事者処遇改善臨時特例交付金として、総額461万8221円が交付されるもので、この交付金を適正に管理・執行するための基金を設置するものです。

議案第3号は、平成21年度から23年度までの保険料率が現行の7段階から8段階に改

出席者

委員 岩田 剛

岡田 久雄

村田 忠文

谷田みさお

中坊 陽

鈴木局長

行政 汐見町長

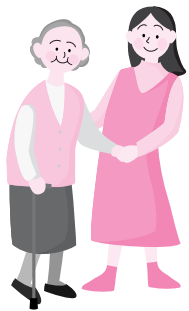
中谷副町長

西島理事

池田理事

脇本高齢福祉課長

坂井主事



交通対策特別委員会

委員長 木村 武壽

2月16日に交通対策特別委員会を開催し、完成間近の多賀駅前整備について、現地視察を行いました。

委員全員と議長出席のもと、事業担当理事、建設課長及び担当者から駅前の事業概要についての説明を受けました。

また、当日JAやましろ農協井手支店前交差点の信号機が稼動し、交通の安全が図られ、昨年9月の多賀バイパスの開通、多賀駅前の整備、信号機の設置と本町の北の玄関口としてふさわしい駅前となったことを確認しました。

出席者

委員 木村 武壽

岡田 久雄

古川 昭義

丸山 久志

谷田みさお

議長 中坊 陽

事務局 鈴木局長

行政 中島理事

中村建設課長

今西係長



信号灯が新設されたJA井手支店前



駅前整備が完了したJR山城多賀駅西口

#手町のボランティアサークル紹介

地域福祉推進員



代 表 中 坊 勤

推進員数 144名

発 足 平成8年より各区で順次発足

地域福祉推進員は、社会福祉協議会から委嘱され「小地域ネットワーク活動」の中心的活動主体として、高齢者が地域の中で孤立することなく安心して生活できるよう、民生児童委員協議会や自治会などと連携しながら、見守り・声かけ活動、ミニサロンの開催などを各地区で展開しています。

ミニサロンには年間延べ1,000人を超える方が参加されています。

誰もが安心して暮らせる福祉の町となるよう、あなたもぜひ地域福祉の推進活動にご参加ください。

写真は介護予防リーダー研修会の様子です

井手町商工会 女性部



部 長 杉本 昌子

部 員 数 58名

- ・講演・演習会・教養教室
アメリカンフラワー・グラスアート 等
- ・地域活性化事業
「桜まつり」で特産品販売
「商工祭」で手作りうどん・特産品販売
青年部主催「MTB大会」で昼食作り
- ・社会福祉事業
「作業所まつり」でかやくご飯作り
社会福祉協議会・食生活改善推進員協議会 給食サービスの協力

井手町商工会女性部では商工業の発展と魅力ある地域づくりを目指して、多彩な活動を展開しています。商工業者の資質向上と地域経済の活性化に努めています。

編集後記

世界的な大不況の中、国も地方も財政状況が色々と大変ですが、季節変わりには確実に訪れました。

今年も卒業式・入学式が行われ涙の別れと、感激の新たな出会いから新しい生活がそれぞれに始まりました。

恒例の桜まつりには、遠方からも多数の方々が訪れ、本町の自然を満喫していました。

3月議会では、平成21年度当初予算を主に慎重に審議をしました。この議会だよりでは、住民の皆様には予算内容をより分かりやすく説明できるよう心がけています。

A・N

議会広報編集委員

委員長	岩田 剛
副委員長	木田 鈴美
委員	岡田 久雄
委員	森田 泰雄
委員	村田 忠文
委員	中坊 陽